

「確かに」と「間違いなく」の意味分析

李 澤 熊
名古屋大学留学生センター

1. はじめに

本稿では、いわゆる「確信の度合いを表す副詞的成分」の中で、「確かに」と「間違いなく」の2語を取り上げ、相互の意味の類似点・相違点を明らかにする。

以下の例を見てみよう。

- (1) 27年ぶりの夏の甲子園、という夢には届かなかった。だが、「先輩の支えでここまで来られた。来年こそは」と菅原君は誓った。

江原監督は「(選手だった27年前と)同じように、『やりゃあできるよ』の精神は確かに(間違いなく)受け継がれている。伝統校の強みを生かすことはできた」と誇らしげに語った。(http://mytown.asahi.com/saitama/news.php?k_id=11000010807240003)

- (2) がれきの転がる不安定な足場、崩れ落ちる壁や天井、破壊力のある重機を駆使する作業——解体工事は間違いなく(確かに)危険な仕事だ。

(http://trendy.nikkei.co.jp/pro/index.aspx)

- (3) NPOの企画趣意書には「全国のカップルに向け、プロポーズに最適な観光情報を発信」とある。さぞかしロマンチックな所?そんな先入観で足を運ぶと、間違いなく(??確かに)虚を突かれる。

(http://mytown.asahi.com/yamanashi/news.php?k_id=20000130804190001)

上の例(1)(2)における「確かに」と「間違いなく」は互いに置き換えても文の持つ意味はほとんど変わらない。概略「話し手が当該の事柄に対して、自信を持って実現・成立すると断定するさま」というようにとらえられる(注1)。

一方、例(3)は「間違いなく」を「確かに」に置き換えてみると、この文脈では不自然な文になる。従って、両者には違う意味の側面も持っていると考えられる。

さて、この2語の意味を分析した先行研究として、辞書・辞典類をのぞけば管見の限りでは見あたらない。なお、辞書・辞典類における2語の意味記述は、堂々巡りの説明となっており、それぞれの意味は不明確なままになっている。

以上を踏まえて、本稿では「確かに」と「間違いなく」についての的確な意味記述を試み

る。

2. 「確かに」の意味

本稿では、「確かに」を多義語とし、2つの多義的別義を認め、考察を行う。

2. 1 <意味1>

<話し手が><何らかの形で確認をした上で><当該の事柄が><実現・成立している><と断定する><さま>

(4) 米共和党の副大統領候補ペイリン・アラスカ州知事の眼鏡は福井製——。福井県は県庁に同型の眼鏡とペイリン氏のパネルを飾り、地場産業のPRに努めている。米紙の報道が発端。福井市内にあるメーカーも「確かにうちの製品。輸出したのをお買いになったようだ」 (<http://www.asahi.com/international/president/OSK200809120105.html>)

(5) 階下でテレビを見ていた夫が、鼻をぐずぐず言わせながら、寝室に戻り、床につく。いつもとわずかに違う空気を感じ、私は思った。

ひょっとして泣いてる？

私は、寝返りを打ち、壁のほうに向いて寝たフリをしながら耳を澄ます。鼻炎がひどくなったのかな。いや、これは確かに泣いた直後っぽい。なにか泣けるドラマでも見たのかな。 (<http://www.asahi.com/housing/diary/TKY200809010114.html>)

(6) このドラマが、なぜ中国の視聴者にこれほど受けているのだろうか。ネット書き込みを読めば分かる。「俳優一人一人の演技が素晴らしい」「ストーリー展開が完璧」「現代社会を描くドラマとして右に出るものがない」。確かに「白い巨塔」は、日本テレビドラマの傑作といえる。連ドラをみる習慣のない筆者も日本で欠かさず見ていた。

(<http://bizplus.nikkei.co.jp/colm/xu.cfm?i=20060417c7000c7>)

以上の例は、「話し手が問題となっている事柄に対して、それが実現・成立していると断定するさま」を表していると考えられる。ただし、話し手は当該の事柄に対して、単に断定するのではなく、何らかの形で確認をした上で断定しているととらえることができる。ここで「確認をする」というのは、必ずしも五感などを通して直接捉える必要はなく、今までの経験や具体的なデータ、他人から得た情報など、間接的なとらえ方であってもいい。ただし、問題となる確認事項は、当該の事柄が実現・成立していると「断定するさま」を表すことから、話し手にとって「当該の事柄の実現・成立を保証するもの」としてとらえられなければならない。

例えば、例(4)は「ペイリン・アラスカ州知事の眼鏡がうちの製品であると断定するさま」を表しているが、その際「(例えば)自分の会社で製造している眼鏡と直接比較するなど、同類のものであることを確認した」ことが前提となる。また、例(5)は「夫が泣いた直後っぽいと断定するさま」を表しているが、単にそのように断定するのではなく、今まで見てきた夫の行動(様子)に基づいてそのように断定しているととらえることができる。

なお、ここで問題となっている事柄というのは、過去か現在における事柄を指す。つまり、「確かに」は未来の事柄については使いにくいということであるが、これについては、4. で詳しく述べる。

2. 2 <意味2>

<話し手が><何らかの形で確認をした上で><当該の事柄が><実現・成立している><と断定する>ことが<問題となっている話題(主張)に対する><(一つの)理解としてとらえられる><さま>

- (7) 「この球場は大嫌いだった。マウンドは低くて投げづらいし、狭いからすぐ本塁打を打たれる。松井(巨人ーヤンキース)には場外まで飛ばされた」

17年間広島でプレーした紀藤投手コーチは外野席を指さしてまくし立てた。両翼91・4メートルはKスタの101・5メートルより10メートルも狭く、当たり損ねの飛球でもフェンスを越えてしまう。確かに、この球場で01年8月、非力な阪神の赤星がプロ初本塁打を放ったのを見た。

(http://mytown.asahi.com/miyagi/news.php?k_id=04000160806270001)

- (8) マラウイを走っていたときのこと、6時に起きて7時に出発しようと宿の人たちに挨拶にいくと朝ごはんにおいしいお米はいかが?(タンザニア→マラウイ国境にて、写真・山崎美緒)

「え!今起きたの!?寝坊だよ!」と指摘されたこともあった。

田舎の村には電気がないので暗くなったら寝る。だいたい20時ごろだ。確かに、ロウソクの灯りや月明かりでは限界があるし、起きていてもすることがないので私も早く寝ていた。

(http://eco.nikkei.co.jp/column/cycling_yamazaki/article.aspx?id=MMECCg004031032008)

- (9) ソウルにはない釜山ならではの魅力とは何でしょう?海?確かに釜山は海に面しています。チャガルチ市場では新鮮な刺身が食べられますが、四方を海に囲まれた刺身大国から来た人たちをとりこにするほどではないと思います。

(<http://www.asahi.com/international/seoul/TKY200805280139.html>)

この<意味 2>は<意味 1>と違って、単に「事柄が実現・成立していると断定するさま」を表すわけではない。以上の例における「確かに」は<意味 1>を含んではいるが、さらにそれが「問題となっている話題（主張）に対して何らかの理解を示す」ものとしてとらえられていると考えられる。

例えば、例（7）は、単に「この球場で01年8月、非力な阪神の赤星がプロ初本塁打を放ったのを見た」ことを断定するさまを表しているわけではない。ここでは、問題となっている事柄が「球場が狭い」という主張に対して何らかの理解を示すものとしてとらえられているのである。また、例（9）も単に「釜山は海に面している」ことを断定するさまを表しているわけではなく、「釜山の魅力は海」という主張に対し、何らかの理解を示すものとしてとらえられていると考えられる。ここで、「何らかの理解を示す」とは、例（7）のように主張に対して賛成する場合もあれば、例（9）のように（結果的に）反対する場合もあると考えられる（注2）。

3. 「間違いなく」の意味

<話し手が><当該の事柄に対して><実現・成立しない可能性がない><と断定する><さま>

- (10) ただ、先に述べたように、必ず濾過工程が入る清酒との区別が付きにくい商品も少なくない。間違いなく本物のどぶろくを味わいたければ、旅行を兼ねてどぶろく特区を訪ねてみてはどうだろう。

(<http://waga.nikkei.co.jp/play/gourmet.aspx?i=MMWAd4066020072007>)

- (11) この大会にはいって絶好調の浦和DFネネと坪井慶介の粘りも光った。現在間違いなく世界ナンバーワンの選手であるミランMFカカのドリブルを、阿部が粘り強いタックルで止めたシーンが何回もあった。

(<http://sports.nikkei.co.jp/soccer/column/osumi.aspx?n=MMSOca014014122007>)

- (12) 培養で菌が出ていて薬を飲んで楽になったのであれば間違いなく急性膀胱炎なので、もう一度検尿をして白血球がなくなったことをたしかめて終わり。

(<http://woman.nikkei.co.jp/life/healthcare/article.aspx?id=200201011200912&page=3>)

以上の例から分かるように、「間違いなく」は「確かに」と違って、「何らかの形で確認をする」ということを前提としない。つまり、「当該の事柄の実現・成立そのもの」

を問題にする場合に用いられると言える。

例えば、例(10)は「本物のどぶろくを味わう」という事柄そのものが問題となっており、それが「実現・成立しない可能性がないことを断定するさま」を表している。つまり、文の状況から分かるように、「何らかの形で確認をする」ということを前提としない。また、例(11)も「ミランMFカカは世界ナンバーワンの選手である」という事柄そのものが問題となっており、それが「実現・成立しない可能性がないことを断定するさま」を表している。この場合も「何らかの形で確認をする」ということを前提としない。もちろん、前提としないということだから、例(12)のように、何らかの形で確認をしている場合に用いられることもある。

4. 「確かに」と「間違いなく」の相違点

本節では、「確かに」と「間違いなく」を比較し、相互の意味の相違点について考察する。

以下の例(13)(14)は「確かに」を「間違いなく」に置き換えてみると、この文脈では不可能かやや不自然な文になる。

- (13) 真子さんの中学進学にあわせて引っ越した。母のゆかさん(41)は「現状とは別の形でも存続させることはできないか」と話す。

廃止案の理由は老朽化と他のリンク整備が進んだ点。確かに(??間違いなく)05年、浪速アイススケート場(大阪市)ができ、06年には守口市のビバスケートが季節営業から通年になった。

(<http://www.asahi.com/kansai/sports/OSK200805090112.html>)

- (14) 笛は笛、太鼓は太鼓。絶対に兼務しない。古典芸能は後継者難だから、兼業を認めてみては、と提案したが通らなかった(笑)。

——確かに(*間違いなく)、オーケストラでバイオリンの人に太鼓叩け、といているようなものか(笑)。

(<http://waga.nikkei.co.jp/enjoy/play.aspx?i=20070601e4000e4>)

以上の例において、当該の事柄は問題となっている話題(主張)に対する「理解」としてとらえられていると考えられる。

例えば、例(13)は単に「05年、浪速アイススケート場(大阪市)ができ、06年には守口市のビバスケートが季節営業から通年になった」という事柄の実現・成立を問題にしているわけではなく、ここで問題となっている「廃止案の理由は老朽化と他のリンク整備が

進んだ点」という話題（主張）に対して、何らかの理解を示しているにとらえられている。この場合、「間違いなく」を用いると不自然な文になるのは、文の状況からも分かるように、事柄そのものの実現・成立を問題にしているわけではないからである。また、例（14）も問題となっている話題（主張）に対する「理解」としてとらえられているのであって、事柄そのものの実現・成立を問題にしているわけではない。従って、「間違いなく」は用いられない。

続いて、以下の例を見てみよう。

- (15) 「そうだなあ、ちょっと外国を歩いてみようか」とか「レストランを経営したい」という言葉が飛び交っていました。その中で、50歳になっても間違いなく（??確かに）音楽業界を引っ張っている吉田拓郎というミュージシャンのすごさを、僕はあらためて感じました。

(<http://waga.nikkei.co.jp/enjoy/music.aspx?i=MMWAe3000016042008>)

- (16) 私はジャズも好きだし、尾崎豊もこよなく愛する人間です。しかし、あらゆる音楽の最高峰に位置しているのは、間違いなく（??確かに）クラシック音楽だと思います。（<http://waga.nikkei.co.jp/enjoy/music.aspx?i=MMWAe3004024042008>）

例(15)(16)は「間違いなく」を「確かに」に置き換えてみると、この文脈ではかなり不自然な文になる。

以上の例は「話し手が当該の事柄に対して、実現・成立しない可能性がないと断定するさま」を表しているにとらえられる。例えば、例（15）は「50歳になっても音楽業界を引っ張っている吉田拓郎」という事柄そのものが問題となっており、それが「実現・成立しない可能性がないことを断定するさま」を表している。ここで、「確かに」を用いると不自然な文になるのは、文の状況からも分かるように、問題となる事柄に対して「何らかの形で確認をしている」ものとしてとらえにくいからである(注3)。また、問題となっている話題（主張）に対する「理解」を示すものとしてとらえられない。

また、例（16）も「あらゆる音楽の最高峰に位置しているのはクラシック音楽だ」という事柄そのものが問題となっており、それが「実現・成立しない可能性がないことを断定するさま」を表している。ここで、「確かに」を用いると不自然な文になるのは、問題となる事柄に対して「何らかの形で確認をしている」ものとしてとらえにくいからである。また、問題となっている話題（主張）に対する「理解」を示すものとしてとらえられない。

さらに、以下の例を見てみよう。

(17) にもかかわらず経営者は残業をなくそうとしていません。その理由の1つは、いまだに「遅くまで毎日残業するのは、会社への忠誠心の表れで“善きこと”」と評価しているからですし、2つ目の理由は、残業をなくせば、現状残業で賄っている仕事をカバーするために、新たな人材を雇用する必要があり、そのためのコスト増が発生するのを恐れているからでしょう。確かに(??間違いなく)一時的なコストアップは避けられないかもしれませんが、「就業時間内の社員の集中力を高めることができれば、効率が上がり十分回収できるどころか、従来以上の価値を生み出す投資になる」とポジティブに考えていただきたいのです。

(<http://bizplus.nikkei.co.jp/colm/yoshikoshi.cfm?i=20070420cv000cv>)

(18) 今日はどこへ行こうかと考えて、はるゆうと3人で近くのコミセンへ遊びに行きました。体育館があって、今日は卓球とバドミントンの日でした。(中略) はるゆうそれぞれを相手にする母はくたくたです。最後ははるとゆう5分交代に相手し、20分やりっぱなし。明日は間違いなく(*確かに)筋肉痛です。

(<http://littlehappyhana.blog32.fc2.com/blog-entry-99.html>)

(19) Q 原子力施設で働く人は、放射線を浴びているんだよね。どこまでなら浴びても大丈夫なの？

A 放射線が体を与える悪影響は〈シーベルト〉という単位で表される。間違いなく(*確かに)死ぬ、とされる被曝(ひばく)量は、7千ミリシーベルト。

(http://mytown.asahi.com/aomori/news.php?k_id=02000340803260001)

まず、「確かに」は問題となっている話題(主張)に対して理解を示す場合に用いられることから、例(17)のように、「～かもしれない」のような蓋然性の低いことを表すモダリティ形式とも共起できる。しかし、「間違いなく」は「実現・成立しない可能性がないと断定するさま」という意味特徴と衝突するため、共起しにくい。

また、例(18)(19)のように、単なる未来の事柄について述べる場合は、「確かに」は用いられない。それは「何らかの形で確認をした上で」ということだから、あくまでも現在までの状況についてしか把握することができないと考えられるからである。つまり、例(18)において「確かに」が用いられないのは、「激しい運動をした」からといって「明日、筋肉痛になる」とは限らないからである(注4)。

最後に、以下の例を見てみよう。

(20) a彼は間違いなく名門大学出身だ。

b彼は確かに名門大学出身だ。

(21) aあの数学問題を簡単に解いたんだから、彼は間違いなく名門大学出身だ。

??bあの数学問題を簡単に解いたんだから、彼は確かに名門大学出身だ。

まず、例(20)は「間違いなく」と「確かに」の両方を用いることができる。「間違いなく」を用いた場合は、「彼が名門大学出身だ」という事柄そのものが問題となり、それが「実現・成立しない可能性がないことを断定するさま」を表している。

それに対して、「確かに」を用いた場合は、履歴書を見るなど、何らかの形で確認をしたというニュアンスが読み取れる。

次に、例(21)において「間違いなく」は何らかの形で確認をするということを前提としないため、aのように問題なく用いられる。それに対して、「確かに」は不自然な文となる。すでに述べたように、問題となる確認事項は、当該の事柄が実現・成立していると「断定するさま」を表すことから、話し手にとって「当該の事柄の実現・成立を保証するもの」としてとらえられなければならない。bでは「彼が名門大学出身だ」の理由(確認事項)として、「あの数学問題を簡単に解いた」をあげている。しかし、一般的に見ても「あの数学問題を簡単に解いた」を「彼が名門大学出身だ」の実現・成立の条件とするのは無理があるため、不自然な文になると考えられる。

5. まとめ

以上、本稿では、いわゆる「確信の度合いを表す副詞的成分」の中で、「確かに」と「間違いなく」の2語を取り上げ、相互の意味の類似点・相違点を明らかにした。以下、分析結果を簡単にまとめておく。

まず、2語の個別の意味の分析結果をまとめると次のようになる。

「確かに」

<意味1>

<話し手が><何らかの形で確認をした上で><当該の事柄が><実現・成立している><と断定する><さま>

<意味2>

<話し手が><何らかの形で確認をした上で><当該の事柄が><実現・成立している><と断定する>ことが<問題となっている話題(主張)に対する><(一つの)理解としてとらえられる><さま>

「間違いなく」

<話し手が><当該の事柄に対して><実現・成立しない可能性がない><と断定する><さま>

次に、2語の相互の意味の類似点・相違点については、以下のようにまとめられる。

「類似点」

<話し手が当該の事柄に対して、自信を持って実現・成立すると断定するさま>

「相違点」

- 1) 「確かに」は当該の事柄が実現・成立すると断定する際に、何らかの形で確認をする必要がある。それに対して、「間違いなく」は当該の事柄の実現・成立そのものを問題にするため、何らかの形で確認をするということを前提としない。
- 2) 「確かに」は問題となっている話題（主張）に対して理解を示す場合に用いられることから、「～かもしれない」のような蓋然性の低いことを表すモダリティ形式とも共起できる。しかし、「間違いなく」は「実現・成立しない可能性がないと断定するさま」という意味特徴と衝突するため、共起しにくい。
- 3) 「確かに」は単なる未来の事柄について述べる場合は用いられない。ただし、「～と思う」「～はずだ」「～だろう」のような形式と共起し、いわゆる「推量」の意味を表す文となれば、未来の事柄であっても用いられる。

注

1) 本稿では、以下のような例は考察対象としない。

① エストレーヤレーシングのガレージ内にある洗車場「シャワーロード松戸」に向かいますが、見つかりません。確かこの辺だったというところを3往復したけど見つからず。

(http://sumimac.net/2008/08/blog-post_21.html)

② 州政府が「代理人」として外国で求人活動を行い、ビザ取得のための書類作りも手伝う——そんな州法が6月に成立した。いわば州が「人材派遣業者」になり農家への季節労働者の確保を少しでも確かにする制度だ。

(<http://www.asahi.com/international/president/analysis/TKY200807300460.html>)

③ 親和銀は長崎県外にある20店舗を廃止する計画を進めており、店舗廃止に伴い100人以上の人員を長崎県内に再配置する。同県での営業攻勢を強めるのは間違いなく、ライバルである十八銀行との競争が一段と激しくなりそうだ。

(<http://www.nikkei.co.jp/news/retto/20080421c6c2102221.html>)

- 2) <意味 1>と<意味 2>は明確に区別されるわけではなく、互いに連続的であると考えられる(舩山(2001:55))。なお、<意味 1>と<意味 2>の意味の関連性についての考察は今後の課題としたい。
- 3) 次のように、何らかの形で確認をするというような表現が現れれば自然な文となる。
 - ④コンサートを開くたびに 10 万人を超えるファンが駆けつけるから、50 歳になっても、吉田拓郎は確かに音楽業界を引っ張っているミュージシャンである。
- 4) 「～と思う」「～はずだ」「～だろう」のような形式と共起し、いわゆる「推量」の意味を表す文となれば、未来の事柄であっても用いられる。

参考文献

- 金田一京助・山田忠雄・柴田 武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄編(1997)『新明解国語辞典』第5版,三省堂.
- 鈴木智美・春原憲一郎・星野恵子・松本隆・舩山洋介(2008)『ことばの説明・文例集 この言葉、外国人にどう説明する?』,アスク出版.
- 田 忠魁・泉原省二・金 相順編(1998)『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使い分け辞典』,研究社出版.
- 飛田良文・浅田秀子(1991)『現代形容詞用法辞典』,東京堂出版.
- 飛田良文・浅田秀子(1994)『現代副詞用法辞典』,東京堂出版.
- 舩山洋介(2001)「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喻」『認知言語学論考』1, pp. 29-58, ひつじ書房.
- 森田良行(1989)『基礎日本語辞典』,角川書店.